

心に響けハーモニー：

夏の合唱コンクール直前号 第3号

7.9.2012

中間考査が終わった…と思っているうちにすぐにやってきた期末考査でした。今回は歌舞伎と合唱の芸術系2本立て+歴史系(百年のあゆみ)でお送りします。

歌舞伎鑑賞教室(6/13)

6月13日の午後、神戸文化ホールで開催された「歌舞伎鑑賞教室」に1年生が参加しました。



“歌舞伎体験”のコーナーで舞台上がって小道具に挑戦した時の感想を寄せてもらいました。

歌舞伎からの学び

I. K.

歌舞伎を鑑賞してどう感じましたか？私は今回初めて歌舞伎を鑑賞しましたが、あんなにも心に直接響く劇に驚きました。

最も衝撃を受けたのは音響です。私は実際にその道具に触れ、限られたもので工夫して作られた道具であると人一倍……二倍も三倍も実

感しました。発想力ひとつであらゆるものを表現できてしまう、ってすごいことだと思いませんか？

また、力加減でも表現されるものは違いました。今回体験できた道具の中で一番顕著に差が出たのは太鼓だと思います。太鼓が優しく鳴り出すとどこか安心感があり、つい目を閉じてしまいたくなります。大きく鳴り響くとそれだけで不思議と劇の世界観に囚われ舞台を凝視せずにはいられません。これも歌舞伎の魅力だと思いました。

鑑賞会がなければ、一生歌舞伎と触れ合えなかったでしょう。新しいものに触れると感性の幅が広がり心も弾みました。このような機会を頂けたことに感謝です！

合唱コンクール(7/11) 自由曲紹介〈出演順〉

6組らしさ

M. S.

私達6組はゆずの「栄光の架橋」を歌います。私達のクラスは自由曲の楽譜がなかなか見つからず、楽譜をもらって練習を始めたのが6月の終わりではほかのクラスより遅れていました。また、練習をやるうとなってもみんなただらして私語が多いという感じで、これでは合唱コンクールに出られないのではないかとという状況でした。

でも、合唱コンクールが近づくにつれてみんなが練習をやるうという雰囲気になってきて

歌声も徐々に良くなってきました。

合唱コンクールでは 6 組らしきを出して、きれいなハーモニーを奏でたいと思います。

クラス全員で勝つ！

Y. T.

僕たち 1 年 4 組は、最初まとまりを欠いていました。他のいくつかのクラスから歌声が聞こえてくる中、このクラスは一度決めた自由曲を変更すると言いつてもない事態も発生し、クラスとしてかなり迷走していました。

そういった中で決まった自由曲「COSMOS」は合唱曲としてかなり有名な曲で、知っている人も多いと思います。この曲は、ゆったりとしたテンポと変ホ長調からやや悲しげな雰囲気の特徴の曲です。ゆったりしている分、歌詞をはっきり発音することと、強弱のメリハリをつけることをクラスとして意識していけるかが特にポイントになると思います。

ばたついていた僕たちですが、クラスとして少しずつ形になってきていると思います。上で挙げたことなど課題は少なくないですが、残り少ない期間のうちに出来るだけ克服して、決勝へ進めるように頑張っていきたいです

3組の底力

Y. K.

3 組は早い時期から歌練に取りかかってきたものの、部活動や勉強などで全員が集まることがほとんどなく、練習内容も決して濃いものとは言えませんでした。そして、合唱コンクールが近づき、また、テスト期間になり、徐々に危機感の声が上がってきました。3 組のいざとなったときの団結力は並大抵のものではありません。持ち前の明るさをフルに生かし、精一杯の練習を重ねました。短期集中型の 3 組の真の力を見ていただけたらと思います。

自由曲「fight」には作詞者 YUI さんの思春期の人に対するメッセージが込められています。今の忙しい毎日に重なる部分も多くあり、

とても勇気づけられる曲です。歌詞の意味を一つひとつ噛み締めながら歌いたと思います。どうぞお聴きください。

合唱コンクールへの意気込み

R. N.

私たちは自由曲に「大地讃頌」を選曲しました。理由は本気で優勝を狙いにいったからです。初めは J-pop を歌う予定だったんですが、優勝するなら合唱曲の方が良いということで、合唱曲を歌うことにしました。大地讃頌は合唱曲として有名で多くの人に親しまれていますが、とても難しい曲でもあります。

初めて歌う時には音程もわからず、しっかり歌えるようになるまでは時間が掛かりました。また、音楽的な表現をするのにも、音程がとれていないため、表現出来ないということもありました。

しかし、今では一般文化委員や指揮者、伴奏者、会長を中心にクラスの全員が協力してくれたことにより、表現が豊かになり全体が纏まりはじめました。

本番では今まで練習してきた成果を発揮し、力強くもあり優しく豊かな大地を表現したいと思います。聞き所は 5 組らしく歌い上げたフィナーレです。

「きっと今は」

S. Y.

高校生活初めての合唱コンクールが、遂にやって来た！と私は思った。入学前、先輩方の合唱を聞いた時は、プロの合唱団のようで驚いた。私はそこを目指そうと思っている。正直、行事続きでみんな疲れているんじゃないかと心配したけど、練習には毎回クラスの多くが参加していて、順調に進んでいる。練習中に他のクラスの人が廊下から覗いていると、「どうだ、すごいだろ！」と自慢したくなる。

2 組の自由曲はスピッツの「空も飛べるはず」。合唱で歌うのは難しい曲だが、みんな一生懸命自分のパートを練習している。上手く歌

うことも大事だけれど、私達は歌詞を伝えることも大事にしている。“きっと今は自由に空も飛べるはず”。この言葉を、聞いている人に、そして私達自身にも響かせるために、本番までの練習を頑張りたいと思う。

「道」～多くの感動をこの手に

Y. I.

1年1組の取り柄は何か？まず、思いつくのが元気で明るいところです。たまにゆきすぎて、雰囲気が悪くしてしまうこともあります。そこはクラス内で先生方の力を借りることなく、解決し、今後の練習の糧にできるところも、また1組の良いところです。男子、女子それぞれ仲が良く男女間では常にお互いに刺激をいれあい、各パートがより高いレベルでの合唱ができるよう日々、一喜一憂しながらも頑張ってきました。

そんな1組が今回歌う自由曲は EXILE の「道」卒業ソングですが、自分たちのこれまで過ごしてきた3ヶ月を振り返り、これから待ち受ける困難や苦難にもみんなで力を合わせて頑張っていこうという決意を込めて歌います。

自分たちの合唱で多くの人を感動させ、全ての人の記憶に残る合唱を届けます。

仲間との絆

Y. M.

私たち7組の合唱練習は、とても早い時期に始まりました。クラスのほとんどのひとが合唱コンクールで優勝したいという姿勢を見せてくれ、積極的に練習に参加しています。指揮者、伴奏者を中心に、朝練、放課後練、休日練を日々重ねていくにつれ、クラスの雰囲気もだんだん熱くなっていきました。

そんな団結力がある7組が挑戦する曲は、flumpoolの「証」です。この曲のテーマは「仲間との絆」です。仲間の大切さ、暖かさを改めて感じる事ができる歌詞にもぜひ注目してほしいです。音の強弱がはっきりしていて、曲はソプラノの柔らかな歌声で始まります。それ

からだんだんと音が大きくなっていき、サビに入ると力強い歌声へと変わります。難易度の高い曲ですが、7組の団結力で頑張ります。課題曲でも7組らしさを表現していきます。

3年間同じクラスなので、これを機会に「絆」をより深めたいと思います。

『兵庫高校百年のあゆみ』から

「我が校の四綱領」（口語訳風）

私たち職員と生徒は、新たな学校を創出する重責を感じつつ、深く時代の流れを読み、神戸という土地柄を考え合わせ、一致団結して心を奮いたたせて独自の精神の確立に全力を尽くした。我が二中の校風は創立（明治41）当時から時間をかけて創り上げられる中で次第に精神的基盤となり、ここに四つの貴重な成語として結晶化した。

私たちはこの四綱領が誕生する時期に関わったことを名誉に感じると共に基礎を固め、その精神を更に高めようと決意した。また、それだけでなく未来の後輩たちも、我々と同じように「四綱領誕生の由来」について思いをめぐらし、永遠にこれを継承して絶対に権威を落とすことなくますます発展させ、そして立派な成果を上げることが期待する。

以上が、未来の我が校の目標を定めると共に現在の我々自身を戒めるため、次に四綱領の意義を明らかにする経緯である。

《質素》[しっそ]

服装を質素にして華美に走らないように戒め、日用品は飾りけのないものにして大切に使う。質素ではない衣服は着ず、質素ではない道具は使わず、質素ではない食物は口にしない。日頃から勤勉・儉約を第一に考え、無駄をなくし質素であることを自分から求めなさい。

ただし、儉約が行き過ぎて単なるケチになったり、「質素」を勘違いして下品になったり、節約を実践しても礼儀正しさを失ったりしてはならない。

《剛健》[ごうけん]

今日の時代の流れをよく観察していると、表面は華やかでも次第に実質が伴わなくなり、真面目に取り組む姿勢が年々衰えているようである。このことは社会が発展し続ける時期に巡り合った未来ある青年にとって最大の心配事となっている。

重要な局面に至っても精神的に強く、困難に直面しても勇気をもって立ち向かい、逆境にあるときにはますます心を奮い立たせ、怯むことなく正しい道を突き進み、気力をふりしぼって最後まで諦めずに戦い抜くという覚悟を持ち続けなければならない。

ただし、虎に素手で立ち向かったり、大きな河を徒歩で渡ったりするという向こう見ずな行為は、以前から歴史的な聖人が戒める所である。その他、外見は服従しているように見せかけて内心では反抗しているような者は、立派な人物が仲間づきあいをしたがらないものである。自分の主義・主張に固執するあまり周囲から助言に耳を貸さなくなったり、勇猛さを示そうとして乱暴に振る舞ったりするようなことは特に注意しなければならない。「剛健」の精神は特に自分の考えを確立し、物事を成し遂げようとする所志を鍛錬し、身体を強く健やかにすることを基盤にしなければならない。

《自重》[じちょう]

自分だけでなく他者の人格も尊重することで品位を保ち、控えめな態度で人に接し、正しい行い心掛け、慎み深さを維持し、大局を見失わずむやみに俗世間の風潮に流されることなく、人が行うべき正しい道を保つ努力を続け、他人の評価によってその志を変えたり、言動において慎みを忘れて下品になったりしてはならない。

相手を見下す態度を「自重」と早合点し、従来のものを受け継ぐだけで新たなものを取り入れる精神を失うようなことは、深く慎まなければならない。

《自治》[じち]

自治は前述の自重の精神がはっきりとした

形で現れたものであって、学校の気風が盛んになるのも衰えてしまうのもこの精神の勢いによって占うことができる。

本校の生徒としての自覚のある者は日頃からそのことを意識し、身近なところでは自分で立てた規律に従って心や行いを正しくし独立心を育むべきである。また、社会においては力を合わせて団体の秩序や風紀を好ましい状態に保ち、個人的な利益を捨て公共の利益に思いをめぐらすべきである。そのように生徒一人一人が行動することで美しく立派な校風を周囲に示さなければならない。

「自治」に名を借りて自分勝手に振る舞ったり、自由を騙って正道に従う品性を忘れ目上からの監督や指導を干渉や束縛と決めつけたりするようなことは深く反省しなければならない。

以上の四綱領を一筋に貫くために我々は全力を尽くし全心を捧げる。

明治43年11月18日（一部省略）

今後の予定

7月10日(火)	防災避難訓練(考査終了後)
11日(水)	合唱コンクール(予選)
12日(木)	球技大会
13日(金)	学年集会
14日(土)	全国模試①[国・数・英]
16日(月)	海の日
17日(火)	合唱コンクール(決勝)
18日(水)	救急救命法講習会
19日(木)	キャリアアドバイザーから話を聴く会
20日(金)	終業式・大掃除
21日(土)	午後校舎内立入禁止
22日(日)	教員採用試験
23日(月)	前期講習(～31日まで)
8月13日(月)	閉校日(～15日まで)
25日(土)	学校説明会
9月 3日(月)	始業式・大掃除・課題考査
4日(火)	課題考査
25日(火)	体育祭

編集後記

やっとタイトルが決まりました！その名も Hybrid な“ゆ～かりーぶず”（7組N君の提案）です。季節も夏を迎えて、新特集「百年のあゆみ」もはじめました。原稿送付メールアドレスは、以下のとおりです。

E-mail: hyogo@gmail.com